

福岡県「2024(令和6)年度当初予算」は2兆2,207億円。

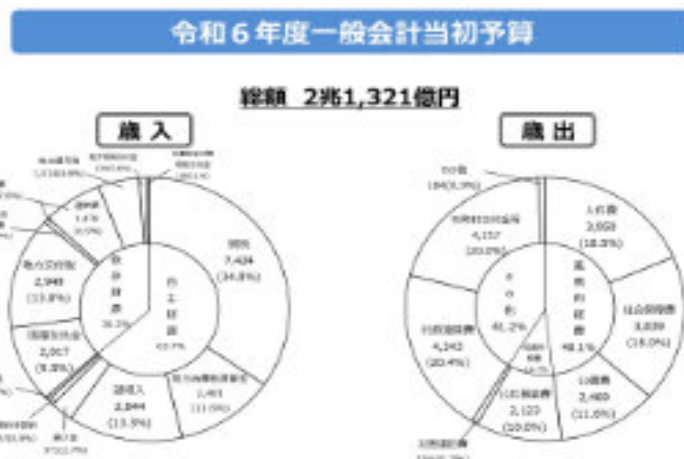
1. 一般会計歳入歳出規模

2024(令和6)年度「当初予算」については、2023(令和5)年度「2月補正予算」、「12月補正予算」を一体とした16か月予算として、切れ目のない対策に取り組みます。総額で、2兆2,672億円となり、過去最大規模の予算となります。

【一般会計歳入歳出規模】

- ・当初予算 2兆1,321億円
(対前年度比654億円、3%の減)
- ・2月補正予算 140億円
- ・12月補正予算 746億円

これらを合わせ
16か月予算
2兆2,207億円



〈福岡県2024(令和6)年予算の概要〉

2. 新年度予算の中心施策

「将来を守るサステナブル社会への改新」、「未来を拓くイノベーションの創発」を施策の中心に据え、この中心施策を実現するため

- ①「1000億円の人づくり」
- ②「県内GDP20兆円への挑戦」
- ③「安全・安心で活力ある社会づくり」

の3つの基本施策(新規、重点事業)を実行します。

特に、
※少子化の進行に起因した人口減少を背景とする人手不足への対応、物価と賃金の好循環の実現など先送りできない社会課題に立ち向かう。

※度重なる災害、新興感染症、地球温暖化など、県民の皆様の暮らしを脅かすリスクから将来を守るサステナブル社会への改新。

※デジタルや先端技術、そして何より「人」が生み出すイノベーションの力で、労働生産性の向上や新たな価値の創出を図り、福岡県を成長・発展させる、未来を拓くイノベーションの創発。

これらの視点をもって、施策を展開します。

【2024(令和6)年度当初予算編成の考え方】

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/214434.pdf> →



←【2024(令和6)年度当初予算の編成概要】

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/214443.pdf>



「2024年度福岡県中小企業融資制度」、総額で1兆51億円を確保!

「福岡県中小企業融資制度」は、県内中小企業の事業活動に必要な資金の融資を促進し、その近代化と経営基盤の安定を図り、もって中小企業の振興に資することを目的としています。

「2024年度中小企業振興資金融資」は4月1日からご利用できます。新年度も引き続き、中小企業向け融資制度を充実させ、新規融資枠は3,285億円、融資総額は1兆51億円を確保しています。

コロナ禍の3年間で厳しい経営を強いられてきた事業者への支援。また、通常の事業運営に資金が必要な事業者には「小規模事業者振興資金」、「長期経営安定資金」、「短期運転資金」。経営の安定が必要な事業者には「緊急経済対策資金」、「経営改善借換資金」。今から事業を始める方には「新規創業資金」。経営革新、新分野へ進出を図る事業者には「経営革新支援資金」。アジア諸国に販路拡大等を図る事業者には「アジアビジネス展開支援資金」があります。詳細は県のホームページをご覧ください。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/r6yuushiseidoannai.html>

【今議会でも質問に立ちました!】

1. 一般質問:「本県の歴史的認識と今後の広報について」(3/3)

今議会、一般質問初日の3月3日、質問に立ちました。今回の質問は「本県の歴史的認識と今後の広報について」でした。質問の概要は以下のとおりです。

- ①4年後2026年は、現在の県域確定となって150年、県庁舎が舞鶴の「福岡城」から天神に移って150年。周年行事の取り組みを準備すべきではないか。(知事答弁)
- ②県内公立小中学校並びに県立高校において、生徒に本県の近・現代史および地方史をどのように伝えているか。そして、今後、どのように伝えるべきか。(教育長答弁)
- ③県営「天神中央公園」にある『旧福岡県公会堂貴賓館』の歴史的価値や認知度を高め、郷土への誇りの醸成につながる取り組みを進めるべきではないか。(教育長答弁)
- ④県営「天神中央公園」、「大濠公園」、「西公園」について、憩いの場・空間としての価値はもとより、歴史資源を活用して都市公園の魅力をもっと高めるべきではないか。(知事答弁)

2. 「予算特別委員会」質問

(1) 農林水産部:「有害鳥獣対策とジビエ肉の活用について」(3/15)

- ①県内の野生鳥獣による農作物被害はどうなっているか。
- ②警備会社「ALSOK福岡」に有害獣の処分を委託している実証実験の内容は。
- ③また、その成果は。
- ④今後、同様の取り組みを他の企業の参入を進め、県内に拡大する計画はあるのか。
- ⑤捕獲したイノシシ、シカのうち、食肉としての利用はどれくらい進んでいるのか。
- ⑥ジビエ肉の活用をどのように図っていくのか。

(2) 県警察:「『少年法』の改正に伴う県警察の対応について」(3/17)

- ①2022年4月1日から施行される改正『少年法』について、改正のポイントは。
- ②「特定少年」にかかる「特例」の内容とはどのようなものか。
- ③改正法を踏まえ、県警察としての対応はどのように変わっていくのか。
- ④県警察における少年の立ち直り支援対策はどのようなものであるのか。
- ⑤「少年サポートセンター」の具体的な活動内容は。

質疑応答の詳細は、ホームページにアップしています。

1. ジェンダー平等の取り組みを推進しています!

今議会、会派代表質問において、「ジェンダー平等の視点を持つような県の施策の展開」を求めるとともに、「県パートナーシップ宣誓制度の推進について」を取り上げました。知事から「ジェンダー平等の視点を持つ施策の展開を行う。」、「県パートナーシップ宣誓制度については広く県民の理解の促進を図り、更なる利用可能なサービスの把握に努め、市町村との連携を進める。」との答弁を引き出しました。

2. 福岡市営地下鉄「空港線」とJR福北ゆたか線「長者原駅」の接続を推進

2021年2月、糟屋地区と筑豊地区の2市9町による「福岡市営地下鉄福岡空港駅・JR九州長者原駅接続促進期成会」が設立。同年2月、福岡県議会・福岡県に対して要望書が提出されました。

これを受け、福岡県議会では2021年『6月県議会』において、「接続基礎調査費」3千万円が計上、議決されました。その後、同年6月、プロポーザル方式による調査請負事業者が選定され、同年9月から基礎調査が実施されています。

2022年3月末をもって調査は終了し、その後、報告書が県議会・県に提出されます。

「空港・交通インフラ調査特別委員会」委員長として、引き続き、福岡市営地下鉄延伸を促進して参ります。

3. 『福岡県SDGs登録制度』を創設します。

SDGsの取り組みは、新たなビジネス機会の創出、認知度・信用力の向上、人材確保など地域経済の活性化にもつながります。このため、県はSDGsへの貢献を「見える化」するための『登録制度』を創設し、企業における取組をします。

構成メンバーは、県商工会議所連合会、県商工会連合会、福岡銀行、西日本銀行、県信用金庫協会、東京海上日動火災保険、三井住友海上火災保険、福岡県、北九州市が参加しています。今後、各企業、団体等への参加を呼びかけ、受付を開始します。